

鎌倉社寺案内
散策&観賞

古都 鎌倉

編
最新
版
古都の文化・
歴史を訪ねて

主要掲載物件64件
自主研修・事前学習
に最適

日本初の武家政権の地・文化人も愛した海と山・華やぐ花々の社寺

鎌倉の成り立ち

古都鎌倉は、京都・奈良とともに日本を代表する国際観光文化都市と知られる。

鎌倉の歴史は、やはり源氏とのつながりからはじまる。

平安時代、河内源氏初代棟梁・源頼信の嫡男で、相模守であった源頼義（988～1075）（河内源氏二代）が、陸奥守に任じられ出陣、奥州の安倍氏を滅亡させて「前九年の役」（1051～1062）の終結戦で勝利する。

検非違使・平直方が鎌倉に居を構えて以来、この地は桓武平氏の東国における拠点であった。その後、直方の家人であった源頼義が、直方の娘婿となり、嫡男の源義家（八幡太郎）（河内源氏三代）（1039～1106）が生まれると屋敷を源氏に譲ったという。頼義は長元元年（1028）の「平忠常の乱」で活躍し、平直方から鎌倉の地を寄進されたともいわれている。鎌倉と源氏の縁の始まりである。

頼義は、後に、河内源氏の氏神である京都の石清水八幡宮を勧請（祭神の御分霊を他の場所にも祀ること）して、由比郷鶴岡（現在の材木座の元八幡）に鶴岡宮（由比若宮）（鶴岡八幡宮の前々身）を創建した。康平6年（1063）8月のことという。

源義家は、18年後の永保元年（1081）2月鶴岡宮の修理を行ったともいわれる。そして、永保3年（1083）から始まった「後三年の役」を鎮圧し、武神と呼ばれた。しかし義家の死後、河内源氏は内紛によって都での地位を凋落させていた。都から東国へ下向した源義朝（源為義の長男）（1123～1160）は、在



伝頼朝坐像（複製） 原品：東京都 東京国立博物館蔵
提供：鶴岡八幡宮

地豪族を組織して勢力を伸ばし、再び都へ戻って下野守に任じられる。その後、東国武士団を率いて「保元の乱」で戦功を挙げ、左馬頭に任じられて名を挙げた。天養2年（1145）に義朝が、今の源氏山を背負って東面する寿福寺の辺りに住んでいたという。

平治元年（1159）、後白河上皇と二条天皇の対立から「平治の乱」が起きる。平氏軍等に敗れた源義朝は、東国への脱出を図るが途中で子頼朝とはぐれ、尾張国で殺害された。頼朝も捕まりやはり処刑されることを、平清盛の継母・池禪尼の嘆願で助命されたとされる。頼朝は伊豆に流され、やがて平氏政権が成立した。

治承4年（1180）、後白河法皇（1127～1192）の第三皇子・以仁王（1151～1180）が平家追討を命ずる令旨を諸国の源氏に発した。伊豆で挙兵した頼朝は、苦戦しながらもかつて父義朝と兄義平（1141～1160）の住んだ鎌倉へ、同年10月入る。そしてしばらく坂東（関東）制圧に勤しむ。この治承4年末までには、四国伊予の河野氏、近江源氏、甲斐源氏、信濃源氏、美濃源氏、鎮西（九州）の豪族らが挙兵して全国各地は動乱状態となる。

寿永2年（1183）春、以仁王の令旨を受けて挙兵していた源（木曾）義仲（1154～1184）（頼朝らの従兄弟）は、平氏との戦いに勝利を続け、7月に平氏一門を都から追い落とした。大軍を率いて入京した義仲は後白河法皇から平氏追討の命を得るが、寄せ集めである義仲の軍勢は統制が取れておらず、朝廷と京の人々は頼朝の上洛を望み、後白河法皇は義仲を西国の平氏追討に向かわせ、代わって頼朝に上洛を要請する。寿永3年（1184）源範頼（1150?～1193）と源義経（1159～1189）は数万騎を率いて京に向かい、義仲を「粟津の戦い」で討つ。さらに、元暦元年（1184）「一ノ谷の戦い」、文治元年（1185）の「屋島の戦い」・「壇ノ浦の戦い」で平氏を滅ぼした。建久元年（1190）、やっ

と入京した頼朝は、国ごとに「守護」、荘園ごとに「地頭」を置く。
建久3年（1192）3月に後白河法皇が崩御し、同年7月、即位した後鳥羽天皇（1180～1239）によって頼朝は、待望の征夷大將軍に任ぜられ、鎌倉に幕府（1192～1333）を開いた。初の武士による政治がこの時から始まり、19世紀中ごろまで続く武家政権の基盤が作られた。

頼朝（1147～99）は、治承4年10月12日、由比郷鶴岡の鶴岡宮（現在の元八幡）を小林郷北山（現在の鶴岡八幡宮の舞殿付近の地）に遷して「鶴岡八幡宮新宮若宮」とし、武家の都市づくりの中心に据えた。これが、鶴岡八幡宮の現在の地での祭祀の始まりである。後に幕府を開いた頼朝は、幕府の組織を整えるとともに三方が山に囲まれ、南は海に面した要害性の高い地形を活かした都市づくりを開始した。鶴岡八幡宮を中心に、周り国との交通路を確保し、



鎌倉の成り立ち	2
社寺文化施設一覧	84~87
主な参考文献	88
奥付	88

地図索引

全体図	8	金沢街道・二階堂・十二所エリア	37
小町通り・若宮大路エリア	10	由比ヶ浜・長谷・極楽寺エリア	47
大町・名越エリア	26	鎌倉駅西口・源氏山エリア(扇ガ谷・佐助)	60
材木座エリア	32	北鎌倉エリア	66

■小町通り・若宮大路エリア

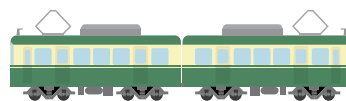
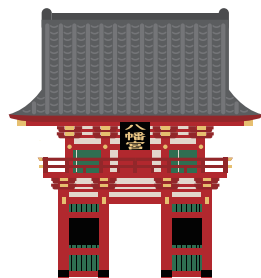
鶴岡八幡宮	10
鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム	17
鎌倉国宝館	17
宝戒寺	19
腹切りやぐら	19
法華堂跡(源頼朝墓)	20
来迎寺(西御門)	20
鎌倉市鍋木清方記念美術館	21
鎌倉市川喜多映画記念館	22
妙隆寺	23
鎌倉彫会館・鎌倉彫資料館	24
大巧寺	24
本覚寺	25

■大町・名越エリア

妙本寺	27
常栄寺	27
八雲神社	28
安養院	29
上行寺	29
安国論寺	30
妙法寺	31

■材木座エリア

光明寺	32
補陀洛寺	34
九品寺	34
五所神社	35
来迎寺	35
長勝寺	36

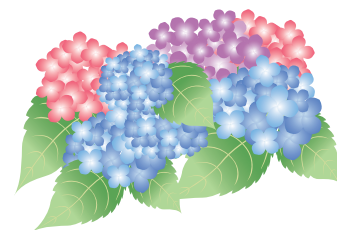


■金沢街道・二階堂・十二所エリア

瑞泉寺	38
鎌倉虚子立子記念館	39
鎌倉宮(大塔宮)	39
覚園寺	40
荏柄天神社	41
杉本寺	42
浄妙寺	43
報国寺	44
一条恵観山荘	44
明王院	45
光触寺	46

■由比ヶ浜・長谷・極楽寺エリア

高德院(鎌倉の大仏)	47
甘縄神明神社(通称甘縄神明宮)	50
鎌倉文学館	50
吉屋信子記念館	51
長谷寺	51
光則寺	56
御霊神社	56
成就院	57
虚空蔵堂(成就院境外仏)	58
極楽寺	58

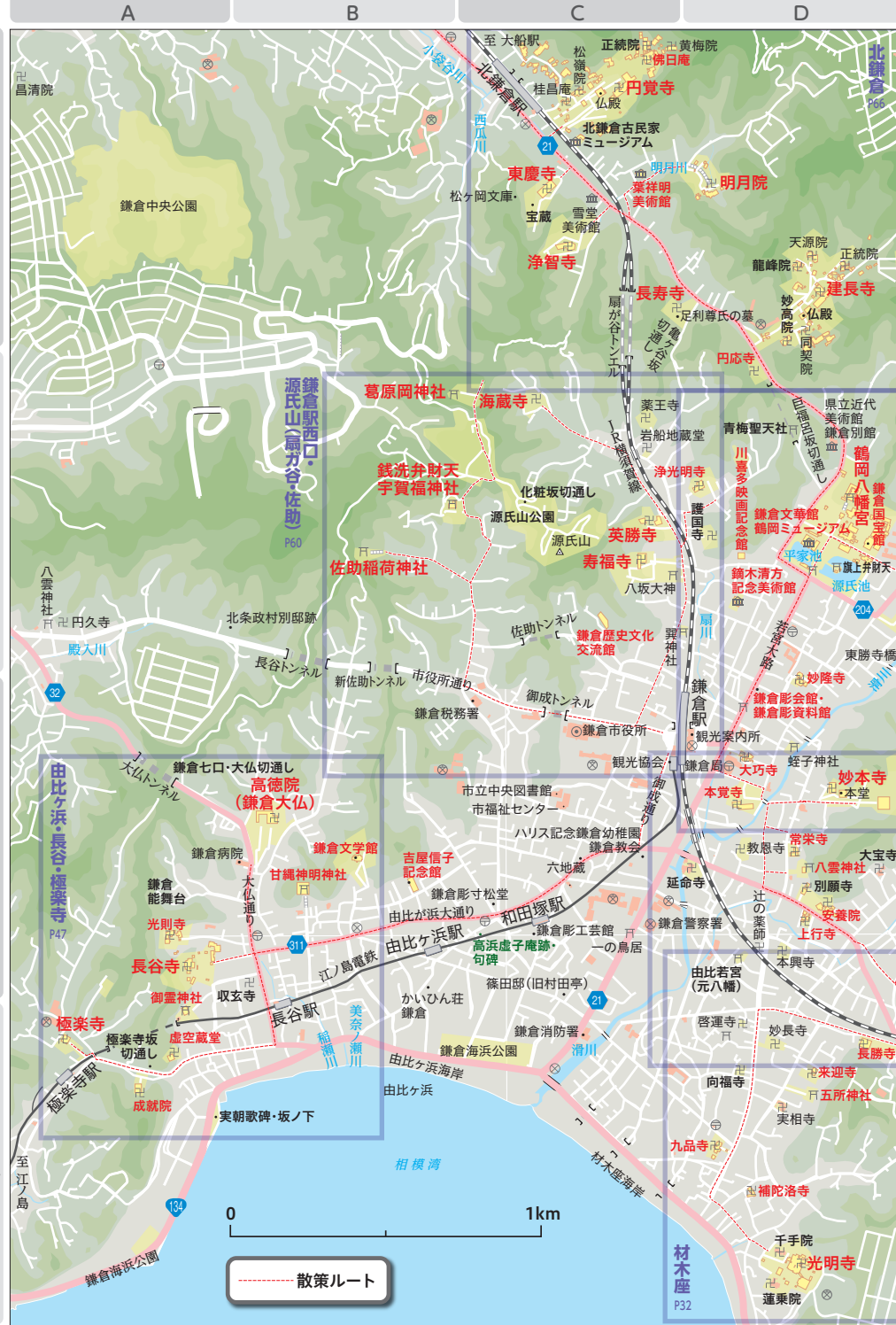
■鎌倉駅西口・源氏山
(扇ガ谷・佐助)エリア

英勝寺	61
寿福寺	61
鎌倉歴史文化交流館	62
浄光明寺	62
海蔵寺	63
佐助稻荷神社	64
銭洗弁財天宇賀福神社	64
葛原岡神社	65

■北鎌倉エリア

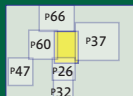
円覚寺	66
円覚寺塔頭佛日庵	68
東慶寺	69
浄智寺	70
明月院	71
葉祥明美術館	72
建長寺	73
長寿寺	75
円応寺	76

■鎌倉の花	77
■鎌倉霊場巡り	79
鎌倉二十四地蔵尊	79
鎌倉三十三観音霊場	80
鎌倉十三仏霊場	82
鎌倉七福神	83





小町通り・若宮大路 エリア



鶴岡八幡宮、若宮大路、小町通りがあり、観光都市鎌倉の中心部。鶴岡八幡宮の大石段を上って楼門前で振り返ると、若宮大路が鎌倉市街を海までまっすぐ貫いているのが分り、源頼朝の町づくりが今も息づいている。レンタサイクル利用もおすすめのエリアだ。

「若宮大路」は、治承6年（1182）に源頼朝が整備した由比ヶ浜から鶴岡八幡宮への参道で平安京の朱雀大路になぞらえて造成された。若宮大路中央、一段高い参道「段葛」は、妻北条政子の安産を祈願して、頼朝の指揮のもと、御家人たちが土石を運んで築造したと伝えられている。鶴岡八幡宮の大石段上にある楼門から見下ろすと、道がまっすぐに海に向かっての見える。海岸から、寛文8年（1668）の銘をもつ、花崗岩造りの一ノ鳥居（大鳥居）、鎌倉駅から徒歩5分程の二ノ鳥居、さらに鶴岡八幡宮境内入口の三ノ鳥居までは約2kmあり、鉄筋コンクリート造りの二ノ鳥居から三ノ鳥居まで段葛が続く。当初は由比ヶ浜から三ノ鳥居までであったが、室町時代には浜寄りの部分は失われていたという。

「小町通り」は、JR鎌倉駅東口から鶴岡八幡宮まで若宮大路と平行に走る通りで、伝統的な土産物屋からファッショングッズ、鎌倉にしかない店や鎌倉限定のスイーツ、鎌倉・江ノ島の食材を使用したグルメまで幅広く店があり、ショッピングや食事、カフェなどが楽しめる。でも、他の観光客やお店への迷惑行為となるような「食べ歩き」は、やめときましょう。

源氏の氏神、武士の都・鎌倉の文化の起点 鶴岡八幡宮 地図P11C1 参照P86

八幡神を祀る神社は、全国に4万社以上あると言われる。古くより源氏の氏神とされ、「武運の神」としても全国で信仰された。

平安時代、東北平定を果たした源頼義（988～1075）は、その帰路、鎌倉由比郷に、源氏の氏神である、京都の石清水八幡宮の御分霊を勧請した。それから約120年後の治承4年（1180）、頼義の子孫にあたる源頼朝（1147～99）が鎌倉に入った。しかし、建久2年（1191）3月鎌倉大火により、全て灰燼と化した。頼朝は改めて石清水八幡宮

を勧請する為、大臣山の中腹を切り開き社殿の造営をはじめた。同年11月には石清水八幡宮の御分霊が正式に勧請され、若宮及び末社等の遷宮が行われ、今日に続く上下両宮の姿となった。二代將軍源頼家（1182～1204）も白旗神社や今宮（新宮）を造営したという。

頼朝の死後、執権を務めた北条氏をはじめ、足利氏・上杉氏や小田原北条氏、豊臣氏そして徳川氏などの時の権力者も、数多くの焼失を繰り返した社殿の修復に努めた。

現在の若宮（下宮）は二代將軍徳川秀忠が着工し、三代家光の寛永元年（1624）に、



1

2

3

4

11



本宮(上宮)は十一代家斉によって文政11年(1828)に修築造営された社殿であるという。江戸幕府による修造は、天保8年(1837)、弘化2年(1845)にも行われている。

古くは鶴岡八幡宮寺と言われてきて神仏習合の場所であった。明治時代初期には神仏分離令による廃仏毀釈で多くの仏教的な宝物を失うも、明治3年(1870)5月までには現在の社容をみるに至り、時代を問わず篤い崇敬を受け続けてきた。境内一帯は、材木座の元八幡と併せ国史跡となっている。

本宮(上宮) 御祭神は、応神天皇・比売神・神功皇后の三柱。

応神天皇の子・仁徳天皇を始め、履中天皇・仲媛命・磐之媛命を祀る**若宮(下宮)**は、本宮とともに国重文である。

さて、三ノ鳥居をくぐると、石の反橋の太鼓橋が、東西に広がる「源平池」に架かっている。東の池(源氏池)の南縁が「神苑ぼたん庭園」、その中の島に「旗上弁財天社」、その社殿裏手に「政子石」がある。弁財天は昭和31年(1956)に再建され、現在の旗上弁財天社は、鶴岡八幡宮創建

800年にあたる昭和55年(1980)年に、文政年間の古図をもとに再建されたものという。

西の池(平家池)の南縁に茶寮「風の杜」があり、北縁の畔にあるのが「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」(P17)、その北側に鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム カフェ&ショップがある。

太鼓橋横の赤橋を渡り少し進むと東西に走

る道、「流鏝馬馬場」である。通過すると東に社務所、西が手水舎である。さらに進むと、文治2年(1186)に世に有名な静御前(義経の妾)の唄舞が行われたとされる若宮廻廊跡に建てられた「舞殿」(下拝殿)があ

神苑ぼたん庭園



る。これを東に進むと若宮(下宮)の前に出る。社殿は本殿・幣殿・拝殿からなる流権現造(国重文)。さらに東に、柳原神池を渡ると「由比若宮遙拝所」。八幡宮の前身である「由比若宮(元八幡)」は、材木座に鎮



若宮



旗上弁財天社



源平池(平家池)



丸山稲荷社

鎌倉霊場巡り

■鎌倉二十四地藏尊

お地藏様で親しまれている「地藏菩薩」は、釈迦の没後弥勒菩薩が如来として姿を現わすまでの間、私たちを救済してくれる仏と言われている。日本では平安時代から盛んに信仰されるようになったが、江戸時代には民衆に最も親しまれる仏となり、その頃流行し始めていた霊場巡りに合わせて、鎌倉の地藏尊巡礼の二十四ヶ所霊場もこの頃に定められたようだ。現在の二十四ヶ所霊場は、明治初年の神仏分離令などのため、多くの像が損亡したのを惜しみ、明治34年(1901)に鎌倉市内を中心に、新たに定められたもの。

名称	寺院名(宗派)	参照頁
解説	地藏尊の縁日は毎月24日	

第1番 子育 経説地藏	宝戒寺(天台宗)	19
本堂にある本尊「木造地藏菩薩坐像」。朱印は本堂内の受付で。		
第2番 岩上地藏(報恩寺地藏)	来迎寺(西御門)(時宗)	20
岩を模した台座の上に坐していることから「岩上地藏」と呼ばれている。事前に電話で堂内拝観の申し出を。朱印は寺務所で。		
第3番 黒地藏(火焚地藏)	覚園寺(真言宗泉涌寺派)	40
地藏堂の本尊「木造地藏菩薩立像」は、毎日決まった時間に寺の人が一緒に境内の主なエリアを案内。朱印は拝観案内所で。		
第4番 身代地藏	杉本寺(天台宗)	42
本堂の地藏菩薩像。観音堂の脇に並ぶ六地藏と共に祀られた「杉本太郎身代地藏」(御前立)。		
第5番 塩竈地藏	光触寺(時宗)	46
本堂前の小さな地藏堂に安置されている「石蔵地藏菩薩坐像」。本堂脇にあるインターホンで朱印依頼を。		
第6番 尼將軍地藏	杉本寺(天台宗)	42
本堂に尼將軍地藏。朱印は本堂拝観受付で。		
第7番 どこもく地藏尊	瑞泉寺(臨済宗円覚寺派)	38
境内奥の名勝瑞泉寺庭園の手前にある小さな地藏堂。朱印は境内の右側に位置する庫裏で。		
第8番 訛言地藏	円応寺(臨済宗建長寺派)	76
本堂左手前に「木造地藏菩薩半跏像」。朱印は山門をくぐった寺務所で。		
第9番 心平地藏	建長寺(臨済宗建長寺派)	73
仏殿に本尊「地藏菩薩坐像」、その脇、千体地藏に囲まれて安置する。朱印所は拝観口の向かい側。		
第10番 斎田地藏(身代地藏)	建長寺(臨済宗建長寺派)	73
木造地藏菩薩の小像が伝えられ、「宝物風入」のときに拝観できる。模刻像が納められている、仏殿本尊の地藏菩薩像をお参りする。		
第11番 勝上嶽地藏	建長寺(臨済宗建長寺派)	73
半僧坊大権現本堂の先の勝上嶽地藏堂は、建長寺の最奥に位置していて、建長寺の総門から厳しい階段など徒歩約30分。		
第12番 聖比丘地藏	淨智寺(臨済宗円覚寺派)	70
「木造地藏菩薩坐像」は、鎌倉国宝館に寄託。朱印は拝観口の裏手側、拝観順路とは反対方面にある書院の横の庫裏で。		
第13番 手引地藏	正統院(非公開)(臨済宗円覚寺派)	66
円覚寺内。拝観は出来ない。朱印は円覚寺拝観口隣の納経所。		
第14番 延命地藏	佛日庵(臨済宗円覚寺派)	68
本堂本尊の「地藏菩薩坐像」は堂外から拝観。朱印は拝観料を払う時にお願いしておく。		
第15番 岩船地藏	海蔵寺(臨済宗建長寺派)	63
岩船地藏堂本仏石造地藏尊は堂内奥に祀られ拝観は出来ない。八角堂の扉に設けられた隙間から御前立の木造地藏尊を拝む。朱印は海蔵寺の庫裏で。		
第16番 綱引地藏	淨光明寺(真言宗泉涌寺派)	62
決まった日だけに公開される2段目以降の平場。3段目の平場、奥の岩壁に彫られたやぐらの中に石造綱引地藏。朱印は境内の入ってすぐ左側の庫裏で。		
第17番 矢拾地藏	淨光明寺(真言宗泉涌寺派)	62
3段目の平場、コンクリートの建物が収蔵庫。本尊阿弥陀如来を含む阿弥陀三尊を安置。その左脇に矢拾地藏。		



鎌倉宮 提供：鎌倉市観光協会

鎌倉市鍋木清方記念美術館…… 21／11A2
源氏山公園…………… - ／60C2
円応寺…………… 76／66C2

🌸 紅葉 (開花時期：11月中旬～12月上旬)

物件名……………	掲載頁／地図
英勝寺……………	61／60D2
明王院……………	45／37C3
覚園寺……………	40／33A1
淨妙寺……………	43／37C2
明月院……………	71／66B1
寿福寺……………	61／60D2
円覚寺……………	66／66B1
建長寺……………	73／66C2
御霊神社……………	56／48B2
一条恵観山荘(かふえ楊梅亭)……………	44／33C3
高德院(鎌倉の大仏)……………	47／48C1
安国論寺……………	30／26D3
鎌倉宮(大塔宮)……………	39／33B2
荏柄天神社……………	41／37A2
鶴岡八幡宮……………	10／11C1
瑞泉寺……………	38／37C2



宝戒寺 提供：鎌倉市観光協会



妙本寺 提供：鎌倉市観光協会

妙本寺…………… 27／26C1
源氏山公園…………… - ／60C2
佐助稻荷神社…………… 64／60A2
延命寺…………… - ／26A2
長勝寺…………… 36／33C2

🌸 梅 (開花時期：2月下旬から3月上旬)

物件名……………	掲載頁／地図
明王院……………	45／37C3
淨妙寺……………	43／37C2
淨智寺……………	70／66A2
明月院……………	71／66B1
極楽寺……………	59／48A3
安国論寺……………	30／26D3
鎌倉宮(大塔宮)……………	39／33B2
荏柄天神社……………	41／37A2
瑞泉寺……………	38／37C2
長谷寺……………	51／48B2
宝戒寺……………	19／11C3

その他季節の花々は、各物件ガイドで紹介しましたので、ご参照下さい。



荏柄天神社 提供：鎌倉市観光協会



名称	電話番号・所在地・最寄り	参拝(観賞)時間・所要分・休み等	料金等	本文頁 地図索引
甘縄神明神社 (甘縄神明宮)	0467-22-3347(八雲神社) 鎌倉市長谷1-12-1 江ノ電「由比ヶ浜」駅から徒歩10分。「鎌倉」駅東口から江ノ電バス「大仏前方面」行き(乗車7分)で「海岸通り」下車徒歩3分	所要20分	志納	50 48D2
安国論寺	0467-22-4825 鎌倉市大町4-4-18 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「逗子・葉山駅」行き(乗車4分)、または「緑が丘入口」行きで「名越」下車徒歩3分、もしくはJR「鎌倉」駅東口から徒歩15分	9時～16時半 月曜閉門(祝日を除く) 所要25分	100円	30 26D3
安養院	0467-22-0806 鎌倉市大町3-1-22 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「名越方面」行き(乗車4分)で「名越」下車徒歩1分、もしくはJR「鎌倉」駅東口から徒歩13分	8時～16時(受付は15時45分) 四万六千日詣り(8/10)・12/29～31は拝観休止 所要20分	200円	29 26C2
一条恵観山荘	0467-53-7900 鎌倉市浄明寺5-1-10 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「太刀洗・金沢八景・ハイランド」行き(乗車10分)で「浄明寺」下車徒歩2分	10時～16時(入館は～15時半) 月・火曜、夏季・年末年始・催事・貸館時は休館(要問合せ) 所要30分	入園料は500円 (未就学児不可)	44 37C3
英勝寺	0467-22-3534 鎌倉市扇ガ谷1-16-3 JR「鎌倉」駅西口から徒歩15分	9時～16時 木曜休 所要30分	大人300・高200・中以下100円	61 60D2
荏柄天神社	0467-25-1772 鎌倉市二階堂74 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「大塔宮」行き(乗車7分)で「天神前」バス停下車3分	8時半～16時半 所要20分	志納	41 37A2
円覚寺	0467-22-0478 鎌倉市山ノ内409 JR「北鎌倉」駅から徒歩1分	8時半～16時半(12～2月は～16時) 所要60分	高校生以上500・中小200円	66 66B1
円応寺	0467-25-1095 鎌倉市山ノ内1543 JR「鎌倉」駅から江ノ電バスで「大船方面」行き(乗車10分)で「建長寺」下車徒歩3分 JR「北鎌倉」駅東口から江ノ電バス「大船駅東口交通広場行き」(乗車6分)で「建長寺」下車徒歩3分 JR「北鎌倉」駅東口から徒歩15分	9時～16時 (12～2月は～15時半) 所要20分	大人300・高中小200円	76 66C2
海蔵寺	0467-22-3175 鎌倉市扇ガ谷4-18-8 JR「鎌倉」駅西口から徒歩20分	9時半～16時 所要30分	100円	63 60C1
覺園寺	0467-22-1195 鎌倉市二階堂421 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「鎌倉宮(大塔宮)」行き(乗車8分)で「大塔宮」下車徒歩10分	10時～16時(受付は～15時40分) 荒天・4/27・8/10・12/20～1/7休 所要50分	高校生以上500・中小200円	40 37A1
鎌倉虚子立子記念館	0467-61-2688 鎌倉市二階堂231-1 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「鎌倉宮(大塔宮)」行き(乗車8分)で「大塔宮」下車徒歩10分	10時～15時 所要25分 新型コロナウイルス対応のため、水曜・木曜のみ開館(祝日は休館)※要事前連絡	施設維持費500円	39 37B1
鎌倉宮(大塔宮)	0467-22-0318 鎌倉市二階堂154 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「鎌倉宮(大塔宮)」行き(乗車8分)で「大塔宮」下車徒歩1分	9時半～16時(社務所) 宝物殿は9時半～16時半(12～1月は～16時) 受付は30分前まで 所要25分	境内自由 宝物殿：中学生以上300・小150円	39 37B2
鎌倉国宝館	0467-22-0753 鎌倉市雪ノ下2-1-1 JR「鎌倉」駅東口から徒歩12分 JR「鎌倉」駅東口から江ノ電バス「鎌倉八幡宮前」(乗車4分)、もしくは京急バス「大学前」(乗車4分)から徒歩約3分	9時～16時半(入館は～16時) 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替え期間など休 所要30分	一般：400円～700円、中小150円～300円 ※展覧会ごとに観覧料が異なります	17 11C2
鎌倉市鍋木清方記念美術館	0467-23-6405 鎌倉市雪ノ下1-5-25 JR「鎌倉」駅東口から徒歩8分	9時～17時(入館は～16時半) 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替え等休 所要25分	企画展：一般300・小中150円(特別展：一般450・小中220円)	21 11A2
鎌倉市川喜多映画記念館	0467-23-2500 鎌倉市雪ノ下2-2-12 JR「鎌倉」駅東口から徒歩8分	9時～17時(入館は～16時半) 月曜(休日の場合は翌日)、年末年始・展示替期間・特別整理期間など休 所要25分	通常展：一般200・小中100円(特別展：一般400・小中200円)	22 11A2

※記載内容は2025年2月時点の情報です。時間は季節・天候によって若干変わる場合があります。

名称	電話番号・所在地・最寄り	参拝(観賞)時間・所要分・休み等	料金等	本文頁 地図索引
鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム	0467-55-9030 鎌倉市雪ノ下2-1-53 JR「鎌倉」駅東口から徒歩10分	10時～16時半(入館は～16時) 所要30分 月曜(祝日は開館)、展示替期間、年末年始休	展示によって変わる 15名以上の団体は要申請	17 11B2
鎌倉文学館	0467-23-3911 鎌倉市長谷1-5-3 江ノ電「鎌倉」駅から江ノ島電鉄で「由比ヶ浜」駅(乗車2分)下車徒歩7分 JR「鎌倉」駅東口から京急バス(大仏前方面)行き(乗車6分)で「海岸通り」下車徒歩3分	9時～17時(10～2月は16時半、入館は30分前まで) 月曜(祝日の場合は開館)、年末年始、展示替期間、特別整理期間休※5・6月、10・11月は臨時開館あり 所要30分	高校生以上300(収蔵品展)・500円(特別展)・中小100(同)・200円(同) ※料金は展示内容によって異なります。 2023年4月～2028年3月まで改修工事のため休館予定	50 48D1
鎌倉彫会館・鎌倉彫資料館	0467-25-1502(資料館) 鎌倉市小町2-15-13(鎌倉彫会館3階) JR「鎌倉」駅東口から徒歩5分	10時～16時(13時～14時は一時閉館) 月・火曜日、夏季休暇、年末年始、その他臨時休 所要20分	一般300・小中150円(特別展別途)	24 11B3
鎌倉歴史文化交流館	0467-73-8501 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 JR「鎌倉」駅西口から徒歩7分	10時～16時(入館は～15時半) 日曜・祝日、年末年始、展示替え期間など休 所要20分	一般400・中小150円	62 60C2
葛原岡神社	0467-45-9002 鎌倉市梶原5-9-1 JR「鎌倉」駅西口から銭洗弁財丸ルートで徒歩35分 JR「北鎌倉」駅から葛原岡ハイキングコースで徒歩30分	9時～16時(社務所) 所要20分	志納	65 60B1
九品寺	0467-22-3404 鎌倉市材木座5-13-14 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「九品寺循環」・「逗子・葉山駅」行き(乗車7分)で「九品寺」下車徒歩1分	9時～16時 所要15分	志納	34 33A3
建長寺	0467-22-0981 鎌倉市山ノ内8 JR「北鎌倉」駅から江ノ電バスで「大船方面」行き(乗車5分)で「建長寺」下車、またはJR「北鎌倉」駅から徒歩15分 JR「鎌倉」駅から江ノ電バスで「大船方面」行き(乗車10分)で「建長寺」下車。	8時半～16時半 所要40分	高校生以上500・中小200円	73 66C2
光触寺	0467-22-6864 鎌倉市十二所793 JR「鎌倉」駅から「金沢八景駅」行き、「鎌倉霊園」行き(乗車12分)で「十二所」下車徒歩1分。	10時～16時(本尊拝観は法要・雨天時は中止) 所要20分	本尊拝観：中以上300・小以下無料(要予約で10名以上のみ受付(一般公開日あり(6月・10月の第1土曜日、13時～)) ※編集時点では本尊の拝観は団体のみ。要確認。	46 37D3
光則寺	0467-22-2077 鎌倉市長谷3-9-7 江ノ電「長谷」駅から徒歩6分 JR「鎌倉」駅東口から「長谷観音・大仏方面」行き(乗車7分)で「長谷観音」下車徒歩4分	8時～17時 所要20分	高校生以上100円・中小無料	56 48B2
高德院(鎌倉の大仏)	0467-22-0703 鎌倉市長谷4-2-28 江ノ電「長谷」駅から徒歩7分 JR「鎌倉」駅東口から江ノ電バス「大仏前方面」行き(乗車10分)、もしくは京急バス「大仏前方面」行き(乗車8分)で「大仏前」下車すぐ	8時～17時半(10～3月は～17時、入場は15分前まで)、大仏胎内拝観は16時半(入場は10分前まで) 所要30分	中学生以上300・小150円(大仏胎内50円)	47 48C1
光明寺	0467-22-0603 鎌倉市材木座6-17-19 JR「鎌倉」駅東口から京急バス「小坪方面」行き(乗車9分)で「光明寺」下車徒歩1分	6時～17時 (10/15～3/31は7時～16時) 所要20分	志納(山門拝観は10時～16時、500円(20名様以上から。要問合せ))	32 33B4
虚空蔵堂(成就院境外仏)	0467-22-3401(成就院) 鎌倉市坂ノ下18-28 江ノ電「長谷」駅または「極楽寺」駅から徒歩7分	所要15分		58 48B3
極楽寺	0467-22-3402 鎌倉市極楽寺3-6-7 江ノ電「極楽寺」駅から徒歩2分	9時～16時半(宝物館は4/25～5/25・10/25～11/25の火木土日曜のみ開館、10時～16時) 所要15分	志納(宝物館300円)	58 48A3
五所神社	0467-25-0949 鎌倉市材木座2-9-1 JR「鎌倉」駅東口から「九品寺方面」行き(乗車7分)で「九品寺」下車徒歩5分、または「五所神社」下車徒歩2分	所要15分	志納	35 33C2

■主な参考文献

鎌倉市史編纂委員会(1967)	『鎌倉市史 社寺編』再版	吉川弘文館
白井永二(1988)	『鎌倉事典』六版	東京堂出版
人文社観光と旅編集部(1989)	『郷土資料事典 神奈川県』改訂新版	人文社
カジボン・マルコ・残月(2005)	『東京・鎌倉 有名人お墓お散歩ブック』	大和書房
神奈川県高等学校教科研究会 社会部歴史分科会(2011)	『神奈川県歴史散歩 下』1版2刷	山川出版社
吉川弘文館編集部(2011)	『鎌倉古社寺辞典』	吉川弘文館
ジェイアクト(2011)	『鎌倉御朱印を求めて歩く札所めぐりガイドブック』	メイツ出版
山越実(2014)	『鎌倉古寺歴訪 地藏菩薩を巡る』	かまくら 春秋社
立元幸治(2017)	『鎌倉古寺霊園物語』	明石書店

■写真協力(敬称略)

鎌倉市観光協会、甘縄神明神社、安国論寺、一条恵観山荘、荏柄天神社、円覚寺、佛日庵、
鎌倉国宝館、鎌倉市鍋木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉市教育委員会、
鎌倉彫会館・鎌倉彫資料館、鎌倉歴史文化交流館、葛原岡神社、九品寺、建長寺、光触寺、
高德寺(鎌倉大仏)、鶴岡八幡宮、長谷寺、八雲神社、葉祥明美術館、古屋信子記念館、鳥越一朗等々

■観光問合わせ先

鎌倉市観光課 0467-61-3884

鎌倉市観光協会 0467-23-3050

鎌倉市観光案内所 0467-22-3350

○表紙画像は建長寺です

※本誌は、2025年2月現在判明分の資料に基づき編集した最新版です。
本書掲載の地図は、国土地理院発行の地形図をもとに作成いたしました。
本書の記事、データ等の無断転載・複製をお断りします。©ユニプラン 2025

鎌倉校外学習事前学習ガイド

散策&観賞 古都鎌倉編

日本初の武家政権の地・文化人も愛した海と山・華やぐ花々の社寺

第1版第1刷 定価 770円(本体700円+税10%)

発行日 2025年3月10日

編集スタッフ ユニプラン編集部

デザイン 岩崎宏

発行人 橋本良郎

発行所／株式会社ユニプラン

〒601-8213 京都府京都市南区久世中久世町1-76

TEL. 075-934-0003

FAX. 075-934-9990

振替口座／01030-3-23387

印刷所／株式会社プリントパック

ISBN978-4-89704-619-8